

学校の働き方改革フォーラム～優良事例大集合！広げよう実践の輪

新潟市のスクールロイヤー制度



みなとまち。みらいまち。新潟市

新潟市教育委員会

スクールロイヤー導入の経緯

- 平成21年～ 必要に応じて緊急的に、「学校問題対策チーム」を教育委員会に設置（のちに「学校問題対応チーム」）
- 平成30年3月 「第2次多忙化解消行動計画」策定にあわせて、教育委員会でスクールロイヤー制度の導入を検討
- 平成30年4月 スクールロイヤー制度を試行開始
（教育委員会を窓口にした相談）
- 平成30年9月 スクールロイヤー制度を正式に導入

スクールロイヤー制度の導入

ねらい

学校園では、価値観やニーズの多様化、複雑化によってさまざまなトラブルが発生し、その解決のために教職員の精神的な負担が高まっている。

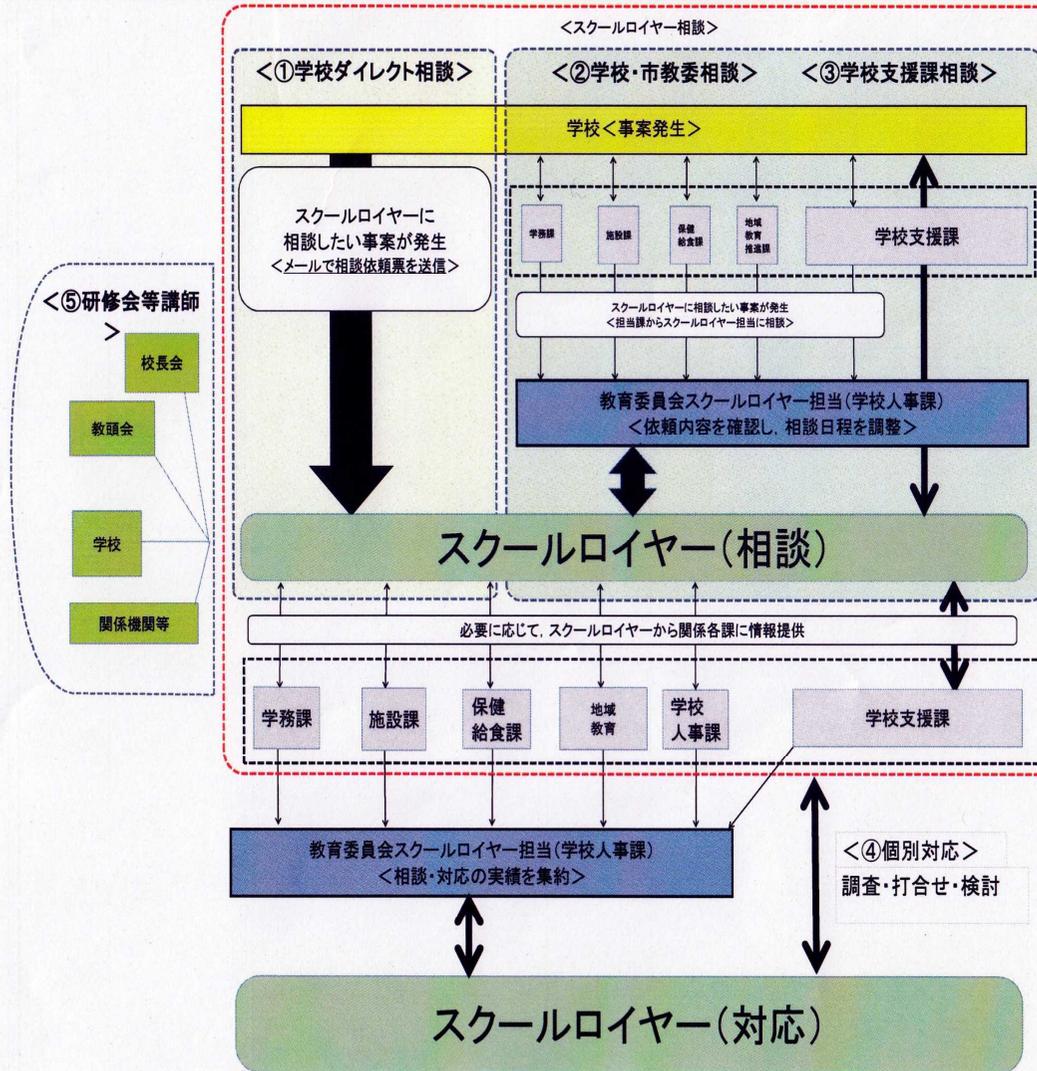
スクールロイヤーによる相談・支援システムを運用することによって、学校園におけるトラブルを防止するとともに法的な知見に基づいて適切に問題の解決を図る。

→ **問題の適切な解決と教職員の精神的な負担の軽減という
働き方改革の視点から導入**

導入の時期

平成30年4月からの試行期間を経て、**9月より本格導入**

スクールロイヤーを中心とする学校相談・対応システム構想図



スクールロイヤー制度の概要

◇ 相談支援の形態

① 学校支援課による相談（月2回の定期相談）

学校支援課が対応している生徒指導事案等について相談

② 学校・教育委員会相談

相談事案が発生したとき、教育委員会を窓口にした不定期の相談

③ 学校ダイレクト相談

相談事案が発生したとき、学校の管理職が直接、メール等で依頼して行う相談

④ 学校への個別対応

必要に応じて、調査、打ち合わせ、検討

⑤ スクールロイヤー研修会講師

スクールロイヤー制度の理解とともに、トラブルの未然防止の視点から研修

当初、計画していなかったが、スクールロイヤーの提案を受けて設定

学校ダイレクト相談



問題発生

学校が直接スクールロイヤーに相談できる仕組み

対応に苦慮

メールで相談依頼票を送る

校長

相談内容の確認や対応についての助言

スクールロイヤー

※状況によって個別対応

必要に応じて、教育委員会各課と情報共有

学校人事課担当者が実績を集約

学校ダイレクト相談 相談依頼票

〇〇弁護士 様

送信日 月 日

相談者	学校園名	職名	氏名
管理職が相談する			
電話番号		メールアドレス	
相談内容 具体的な状況	いつ どこで 誰が どうした どうしてほしい 何を相談したいかを明確に		

相談の事例

保護者から児童へのいじめの対応について、書面で回答してほしいという申し入れがあった。どうしたらよいか。

法的には書面での回答の必要はない

今日の社会の風潮の中で、その後の関係性を考え、書面で回答せざるを得ない場合

スクール
ロイヤー
の
支援

書面の書き方についてのアドバイス

- 今後のトラブルにならないか。
- 相手の感情を害さないか。

口頭で説明

純粋な法律問題に限らず、広く問題解決のための助言や支援を行う。

スクールロイヤー研修会

スクールロイヤーとして、主に管理職を対象に、スクールロイヤー活用の視点やトラブルの未然防止などについて研修

区	期日	開始時刻	会場	参加者数
中学校長会	9月5日	13:30～	豊栄地区公民館	61
高等学校長会	11月19日	15:00～	白山浦庁舎	16
北区小学校長会	10月23日	9:30～	北区文化会館	15
東区小学校長会	12月14日	9:15～	東区プラザ	12
中央区小学校長会	10月24日	9:30～	鳥屋野小学校	19
江南区小学校長会	2月19日	9:00～	江南区福祉センター	15
秋葉区小学校長会	11月13日	9:15～	新関小学校	12
南区小学校長会	2月15日	14:00～	白根学習館	11
西区小学校長会	2月14日	9:30～	南部公民館	18
西蒲区小学校長会	3月15日	9:30～	曾根小学校	13
モニター校	10月19日	15:40～	内野小学校	49
小学校教頭会	3月1日	15:00～	江南区文化会館	113
中学校教頭会	12月14日	15:00～	サンルート新潟	59
スクールカウンセラー研修会	8月2日	13:30～	秋葉区文化会館	200
研修会参加者合計				613



現場の声

- 学校がトラブルに直面したとき，早い段階からスクールロイヤーに相談することによって，問題が整理され，解決のための手助けとなった。
- 研修会を通して，どんな場面にスクールロイヤーに相談したらいいかイメージをもつことができた。
- 保護者から文書で回答するように要求されたときの対応がとても参考になった。文書でなく口頭で説明するようにしてきたが，学校だけでは，のちにトラブルにならない文書を作成することは難しいと思った。

現場の声

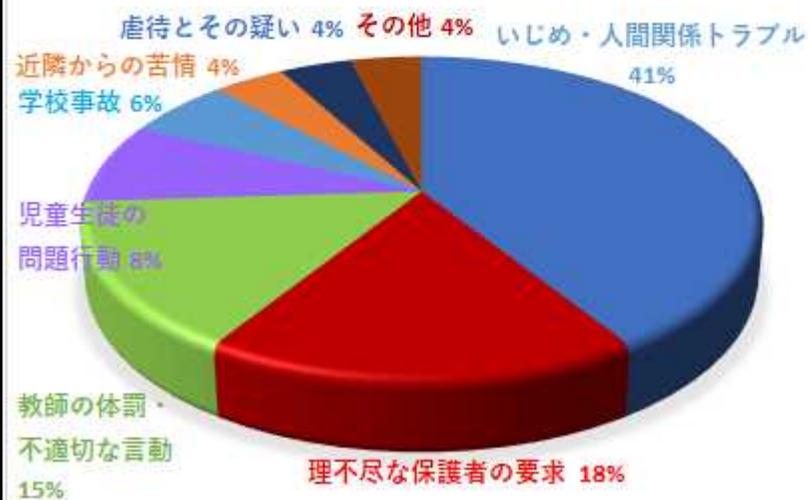
- 研修会で事例を扱ってもらったのはとてもよかった。
これからも研修する機会があるといいと思った。
- 学校ダイレクト相談という形態を作ってもらって、
迅速に相談できるようになったのはよかった。
- スクールロイヤー制度が始まって、困った時に相談
できるという 安心感を持つことができ、管理職を含
めた教職員の精神的負担が減った。

平成30年度の実績

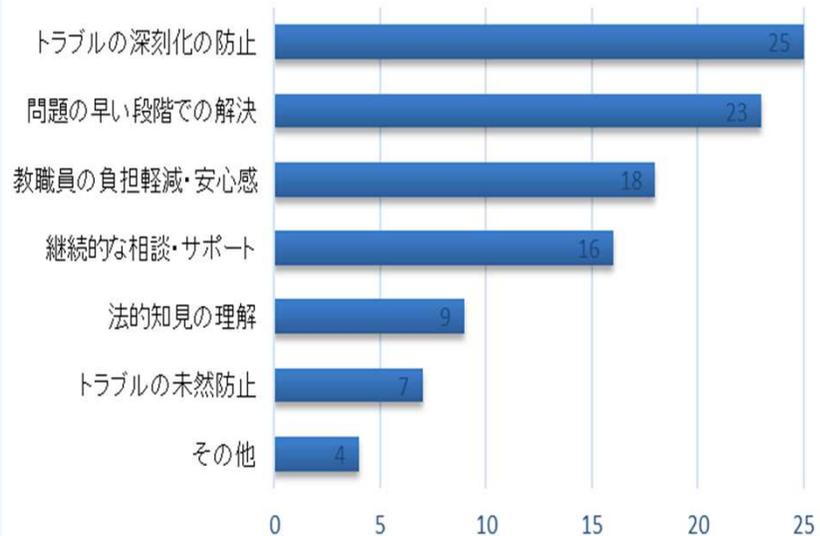
○学校支援課による相談 ○学校・教育委員会相談	99件（内4月～8月の試行期間は64件）
○学校ダイレクト相談	82件
○スクールロイヤー研修会	校長会、教頭会等で14回実施 613名が参加

年度初めの方がトラブルの発生が多く、試行期間での対応件数が多くなった。

相談案件の分類



スクールロイヤーの効果



1年間の運用から見えてきたこと

- スクールロイヤー制度は，問題の適切な解決と現場の安心感と精神的な負担軽減につながっており，期待が大きい。
- 学校ダイレクト相談は，純粹な法的な問題にかかわることだけでなく，広く問題解決のための助言や支援をもらうことが多かった。
- スクールロイヤーが，学校の実態について理解があることによって，学校現場にとって適切な問題解決を図ることができた。

1年間の運用から見えてきたこと

- 相談事案が多くなる中で、対応事例を共有することによって、全体の対応力の向上を図ることが必要である。
 - 相談しやすい体制づくりが進む中で、一部の学校園で、主体的に問題を解決しようという姿勢が弱くなる傾向がみられた。
 - 相談事案が増加する中で、今後、スクールロイヤー体制を維持、拡充を図るときの人材確保が課題である。
- ➡
- 校長会と連携した事例の共有と対応力向上
 - スクールロイヤー制度の維持、拡充のための人材確保等

ご清聴ありがとうございました



みなとまち。みらいまち。新潟市